

道路の整備は、地域の利便性向上や安全確保など県民の生活に様々な効果をもたらします。



一般国道125号 栗橋大利根バイパス

交通量の変化

バイパス 12,496台 / 12時間
 現道 3,938台 / 12時間 (開通前13,005台 / 12時間)
現道の交通量が69.7%減(△9,067台)

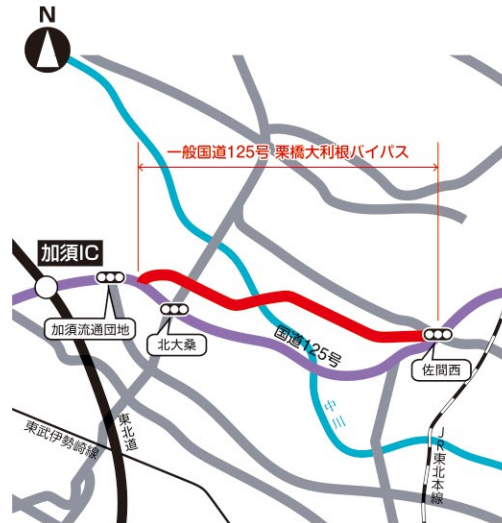
※交通量調査日: H30.11(開通前)・R2.11(開通後)

走行時間の短縮

バイパスの開通により、走行時間が短縮

【開通前】 現道利用 12分 → 【開通後】 バイパス利用 6分 (△約6分)

※調査日: H30.11(開通前)・R2.11(開通後)



現道



バイパス

一般県道 幸手境線

交通量の変化

バイパス 6,890台 / 12時間
 現道 4,683台 / 12時間 (開通前6,200台 / 12時間)
現道の交通量が24%減(△1,517台)

※調査日: R2.11.12(開通前)・R3.12.1(開通後)

走行時間の短縮

・バイパスの開通により、走行時間が短縮しました。

【開通前】 現道利用 26分 → 【開通後】 バイパス利用 15分 (△11分)

※調査日: R2.11.12(開通前)・R3.3.25(開通後)
 ※幸手団地入口交差点～消防署前交差点までの所要時間

安全性の向上

・狭い現道の交通量が大幅に減少し、交通事故が減少しました。

【開通前】 <交通事故件数> 2件 → 【開通後】 0件 **2件減**

※調査日: R2.4～R2.12(開通前)・R3.4～R3.12(開通後)



開通前の現道



バイパス